



あいなん逸品図鑑 その⑨



「湯あがりゼリー」

企業組合 パトリッキング

代表理事 小野山 かをりさん



愛媛CATV
動画

「愛南町の味を伝えたいという思いがあり、フランス語でふるさとを意味するパトリからパトリッキングと法人の名前を決めた」と話す小野山かをりさん。

パトリッキングは、^{かわちばんかん}河内晩柑など農産物を用いた加工品の製造と販売を行い、町内農業者の所得向上や担い手の育成、地元の農業活性化を目的に今年の2月に設立されました。4月から本格的に稼働を始め、旧赤水保育所で組合員14人が交代しながら、河内晩柑の飲むゼリーやジュースを製造しています。

法人化して初めて製造された湯あがりゼリーは、愛媛県のイメージである道後温泉をコンセプトに、お風呂上がりに飲めるゼリーとして開発されました。「商品開発には2年ほどかかり、理想の喉越しの良さを出すためのもととなるゲル化剤を探すのに苦労した」と話す小野山さん。

開発に力を入れた分製造にもこだわっており、味の面では苦みやえぐみが出ないように手搾りしています。また果肉の色を見て使用する河内晩柑を選ぶことで見た目にも発色の良いゼリーに仕上がっています。「食べた方からおいしいと言っていて、すでにリピーターの方もいます」と商品に自信をのぞかせます。

販路については、組合員それぞれが持つ販売先と町内では季節園での販売を行っています。また今年の夏ごろからふるさと寄附金の返礼品として取り扱う予定です。

今後の目標について小野山さんは、「パトリッキングは立ち上がったばかりですが、ゼリーだけではなくお惣菜や漬物の製造許可を取って、地域の方に喜ばれるような商品開発をしていきたい」と意欲を見せました。



▲2種類の新商品湯あがりゼリーを手に持つ小野山かをりさん。



▲選び抜かれた河内晩柑を使用し、一つ一つ手作業で果汁を搾ります。



▲湯あがりゼリーは、女性をターゲットにパッケージデザインにもこだわっています。

ふるさと寄附金について

寄附された町外の方を対象に、愛南町の豊かな自然の中で育まれた海の幸・山の幸をはじめとする特産品「ふるさとの香り」を心ばかりのお礼としてお送りします。

詳しくは町ホームページをご覧ください。



愛南町
ホーム
ページ